

第7回壮瞥町新型コロナウイルス感染症対策本部会議 顛末要旨

と き 令和2年5月7日(木) 8:50-9:30

ところ 壮瞥町役場中会議室

■出席者 町長(本部長)、副町長、教育長(以上、副本部長)
総務課長、企画財政課長、税務会計課長、住民福祉課長、産業振興課長、商工観光課長、
建設課長、議会監査委員事務局長、農業委員会事務局長、生涯学習課長(以上、本部員)

■議事要旨

(1) 国などの動き

- 国、道等の動向(国の緊急事態宣言延長、及び道の対応)について共有した。【資料】

(2) 住民対策班

- 本日午後に行う定額給付金の封入作業等について説明、共有した。
→5/8 発送、5/11～受付開始(オンライン申請も5/11 から開始予定)

(3) 教育対策班

- 5/31 まで臨時休校を延長し、5/11 の週から分散登校は行う予定である。
→本日の校長会で分散登校の方法等を検討予定

(4) 総務対策班

- 5/4 緊急事態宣言延長等を踏まえて、別紙の通り公共施設を再開又は休館延長とした。【資料】
- 国の地方創生臨時交付金要綱等に基づく当町実施計画策定のため、各課で対象経費を算定し、5/15 までに企画財政課に提出することとした(5/下旬をめどに議会協議予定)。

(5) 経済対策班

(6) 今後の対応等について

- 本部長
 - ・ 給付金等は、1 日でも早く交付できるよう、迅速かつミスなく事務を進めること。
 - ・ GW 中に町内事業者へ電話ヒアリングした。概ね冷静に受け止めてはいたが、「長期化を懸念」、「町の水道料減免に感謝」、「休業中の事業者が多い地域の治安が心配(既に伊達警察署に警備強化を依頼済)」等の声があった。
 - ・ 防災無線等による町民への町長メッセージ発信を検討している。
 - ・ 国の地方創生臨時交付金の効果的な財源活用を検討されたい。
- 副本部長
 - ・ 町の取組みを、もっと上手に町民に伝える手法を考えること。